
白い季節に

漣香

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

白い季節に

【Nコード】

N5232BA

【作者名】

澪香

【あらすじ】

夏が大好きな少女の冷風雪と皆に見えない不思議な少年の涼風勝がえがく恋愛短編ストーリーです。

時は冬、この寒く孤独な季節。

そんなときにふく冷たい風。

これはそんな冬に家に注ぎ込まれる風。

私の名前は冷風雪。れいふうゆき 中学二年生

好きな季節は夏、だからその逆の冬は大嫌いな。

「ハアーツ今年も来年もその先もずーっと冬があるんだろうな」

私は大きな独り言を言う。

「あたりまえ！ていうか、なんでそんなに冬が好きな？」

姉の夏なつが言う。

「寒いのがヤダ！暖かいほうがいいじゃん！」

「私は夏のほうが・・・いいんだけど」

「なんで名前が雪なの冬が嫌いなのに！！」

ハアアアアーツ

私は心の中で大きな溜め息をした。

私の姉・・・まあ双子で一卵性なんだけど・・・結構な違いがある。

まず一つ目、好きなものとか好きな季節とかほとんど違う。

二つ目、顔があんまり似てない、私はお母さん似で夏はお父さん似なのだ。

三つ目、声が違う、夏は声が高い、私は普通ってぐらいだと思うが比べてみれば低い。

同じって・・・成績ぐらいじゃないか？考えはあんまり同じじゃないのに結論はほとんど一緒なのだ。

「夏ってさあ、彼氏いるんでしょーッ」

「いるけど？」

そう。姉は中学一年に彼氏ができ、今だに続いている。

「一緒に遊んできたなら？そっちのほうが面白いでしょー！」

「・・・じゃあそうする」

夏はケータイをバックから取り出し、彼氏に電話をしている。

数分後

「いってきます」

夏は、何処かへ遊びに行った。

私が一人になりたかったのを夏は当ててくれたようだ。

双子だったから、おたがいの考えはそれなりに分かってくれる。

「ハアアアアアッ、もうヤダッ夏だけの世界ってないの？」

「あるぜ！」

「マジで本当!!……って誰」

私は振り返り顔を見る……知らない人……。

「泥棒？」

「違う、違うっていかお前にしか見えてないはずだから！」

ハア？普通誰でも見えるもん。きっとコイツ泥棒だ！

「お母さー！泥棒だよー泥棒！」

「えっ泥棒!?!」

お母さんは私の部屋まで走ってくる。

「なんだ！誰もいないじゃない！遊びにもほどつて言うものがあるのよ」

えっ！お母さん見えないの？この人・・・

「ほらっ！見えないだろ！」

クラッ・・・

私は、驚愕で倒れてしまった。

「ココは・・・夏！夏だああー！」

夢の中？そこは真夏の家だった。

「うるさい！夏に決まってるでしょ！夏しか季節はないんだから」

夏が言う・・・コイツ馬鹿？」

「何言ってるの？四季は春、夏、秋、冬と・・・」

「雪のほうが可笑しいじゃん！四季なんかじゃないよ？夏だけ！季節は夏だけしかないのに・・・馬鹿？」

えっ・・・もしかして本当に夏だけの世界になったの？

「そっだよー！」

「あっ、さっきの！ありがとう・・・名前は？」

「ああー俺は、涼風勝！すずかぜまさる改めてよろしく！」

「うん！」

なんだろう・・・この胸の高鳴りは・・・止まらない・・・どうして？

「な・・・夏！」

「ん？何？雪」

「この胸の高鳴りって何？」

「さつき男と一緒にいた？」

「うん！」

「じゃあそれは、好きってことだよ」

「ええええええー——————ッ」

「それ以外ありえないね！」

「嘘だ嘘、嘘、嘘、嘘だあああああああああ————ッ」

「嘘なんかつく理由なんかないよ」

嘘・・・このドキドキが？・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5232ba/>

白い季節に

2012年1月14日15時55分発行